



平成30年1月31日

国土交通省中部地方整備局

## 平成29年度「手づくり郷土賞」(国土交通大臣表彰)の認定証授与式を開催！

～中部地方整備局管内から地域づくりの優れた取組2件が認定～

国土交通省では、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を「手づくり郷土賞」として表彰しております。中部地方整備局管内から選定された取組の認定証授与式を2月7日に静岡県内で開催します。

### ■平成29年度「手づくり郷土賞(一般部門)」認定証授与式(中部地方整備局管内)

受賞案件名	かのがわ風のテラス
受賞団体	沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会
認定証授与式	<p>日時:平成30年2月7日(水)11:15～11:45</p> <p>場所:沼津市役所 本庁舎4階 特別応接室 静岡県沼津市御幸町16-1</p> <p>出席予定者:沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会 沼津市長、中部地方整備局長</p> <p>なお、平成30年1月28日開催の「手づくり郷土賞グランプリ2017」において、「かのがわ風のテラス」が一般部門でグランプリを受賞しました。本省記者発表 <a href="http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000185.html">http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000185.html</a>。</p>

受賞案件名	うしづま水辺の楽校 子供達のたくさんの笑顔、オクシズの魅力アップを目指す
受賞団体	うしづま水辺の楽校世話人会
認定証授与式	<p>日時:平成30年2月7日(水)16:15～16:45</p> <p>場所:静岡市役所 静岡庁舎新館8階 市長公室 静岡県静岡市葵区追手町5番1号</p> <p>出席予定者:うしづま水辺の楽校世話人会 静岡市長、中部地方整備局長</p>

- 添付資料:  
資料1 手づくり郷土賞 中部地方整備局管内の受賞案件(一般部門)概要  
資料2 手づくり郷土賞 手づくり郷土賞グランプリ2017の開催結果
- 配布先:中部地方整備局記者クラブ、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、沼津記者クラブ

[問合せ先]中部地方整備局企画部企画課 建設専門官 田中 靖久、係長 澤田 隆志

TEL 052-953-8127 FAX 052-953-8294

## ① 社会資本の概要

「かのがわ風のテラス」は、沼津市市街地を流れる一級河川狩野川の右岸上土町周辺に位置しています。中心商店街の通行量減少等の課題をもつ沼津市において、平成23年の河川許可準則改正による規制緩和を機に、人が集う賑わいの場を提供しようと水辺空間の活用方法の検討が始まりました。平成26年には地元商店街・市・河川管理者などからなる協議会を設立し、狩野川の水辺空間の活用を図る取り組みを進めた結果、年間3.8万人が四季折々の風を感じながらオープンカフェやバーベキュー、パフォーマーによる水辺のステージ、地元イベント等を楽しむことが出来る空間となりました。



かのがわ風のテラス（静岡県沼津市）



水辺のオープンカフェ

## ② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

狩野川を生かして沼津のまちをもっと楽しく、魅力や活力向上につなげていこうと、地域住民と行政と一緒に平成25年度に「沼津あげつち周辺狩野川活用研究会」を結成しました。初年度には狩野川右岸の階段堤を利用した水辺のオープンカフェや水辺のステージ、水辺のバーベキューなどを実験的に開催し、研究会の成果として、狩野川の魅力とその素晴らしいロケーションを活かしたお洒落な空間の演出が利用コンセプトとされ、愛称として「かのがわ風のテラス」が提案されました。

平成26年には研究会での実験結果をふまえて「沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会」を設立しました。誰もが利用しやすい狩野川にするための取組を提案しながら、水辺空間のオープン利用を本格的にスタートしました。現在、「かのがわ風のテラス」を新たな憩いの場・賑わいの場として活用し、カーネーション大会の開催など市内外の団体とも連携しています。



水辺のステージ

—第31回— 精選 手づくり郷土賞



水辺のバーベキュー



カーネーション大会

## ③ 活動の成果や波及効果等

地域による水辺の空間の活用からからはじまった「かのがわ風のテラス」の活動は、最近では地元有志団体等がフェスタなどのイベントで利用するようになり、水辺の空間利用が地域住民・企業・行政ともに広く知られるようになりました。さらに波及効果として、水辺の空間の利用が認知されてきたことにより、フィルムコミッションの分野でも、ドラマやバラエティ番組等で数多く使われています。

今後も、日常的な河川空間の利用促進と河川に面した店舗などを増やしていくため、利用しやすい環境づくりを進め、まちなかと河川空間が一体となった取り組みを進めていきます。



THIS IS NUMAZU 沼津自慢フェスタ2017



沼津夏まつり花火大会

## 喜びの声



### <受賞者>

沼津上土町周辺狩野川  
河川空間利用調整協議会  
委員 小松 浩二

### <コメント>

この度は、かのがわ風のテラスの取り組みが評価され、大変うれしく思います。沼津市の中心部を流れる狩野川は、まちの貴重な資源であり、人が集まる可能性のある魅力的な空間です。

これからもこの空間の価値を高めていき、日常的に人が集まるエリアにしていきたいです。

### <活動内容>

かのがわ風のテラスの運営・維持管理  
オープンカフェ、水辺のステージ、  
BBQ、地元イベント等の利用調整など

### <活動の経緯>

- 平成25年 沼津あげつち周辺狩野川活用研究会を結成  
様々な社会実験を通して検討
- 平成26年 沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会設立
- 平成29年 イベント利用者向け備品の貸し出し開始

### ◆所在地

静岡県沼津市上土町

### ◆活動主体及び連絡先

沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会  
055-934-4748 事務局（沼津市役所商工振興課）  
対象となる社会資本  
かのがわ風のテラス  
※管理者：沼津市





# うしづま水辺の楽校

子供達のたくさんの笑顔、オクシズの魅力アップを目指す

## うしづま水辺の楽校世話人会

### ① 社会資本の概要

「水辺の楽校（がっこう）」は、一級河川の安倍川の上流に位置し、河川管理をする中部地方整備局静岡河川事務所と静岡市が連携して平成20年に整備しました。約1万㎡の河川敷地には、「魚と泳ぐエリア」「魚のつかみ取りエリア」「水遊びエリア」などの、全6エリアがあり、水温は真夏でも19℃前後で、安倍川流域に生息するアユやアマゴなどが泳ぐなか、子供たちが一緒に遊びます。地元ボランティア団体である世話人会が主体的な運営にあたり、平成21年の開校以降毎年2万人程度が来校しているとともに、夏期以外でも様々な活動をおこなっています。



うしづま水辺の楽校（静岡県静岡市葵区牛妻地先）



水遊びエリア

### ② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

活動のきっかけは、近年、自然の中で遊ぶことが少なくなった子供達に水遊びを通じて、安倍川の自然の豊かさや大切さ、また川の危険についても伝えることを目的としています。幼少の頃から安倍川で育った14名が中心となり、地域や行政とも連携して活動を実施しています。

現在では、安倍川内の水遊び場において、子供たちが安全に泳いだり、魚のつかみ取りや筏乗りを体験できる取組や、土手をつくり川に親しむ取組をしています。

しかし取組の課題として、水辺空間の環境を良好に保つことや子供たちやその家族が安全に楽しめるよう監視することは、大変な苦勞があります。世話人会では、創意・工夫して取り組んでおり、ボランティア10人以上で毎日監視員として常駐しています。子供達が川で安全に楽しく遊べるよう、河原の草刈りや駐車場の運営、ゴミの持ち帰りなどを利用者へ温かく呼びかけており、地域住民の川に対する愛着を高め、地域と共に次世代へ継承を目指しています。



子供が主役「水辺の楽校開校式」



水辺の楽校開校中の賑わい



環境学習講座を開設

### ③ 活動の成果や波及効果等

うしづま水辺の楽校は、行政と学校が連携した自然環境教育（小学校課外活動）の代表事例として、県内外の地域へ活動が波及しています。

新たな取り組みとして、近年激減したホタルの養殖を行い、施設周辺の水辺に幼虫を放流するなど「牛妻地区のホタルの再生」に挑戦し、通年の施設活用および地域の新たな魅力づくりに取り組んでいます。静岡市の中山間地域「オクシズ（奥静岡地域）」の賑わいの核として、春の子供会の祭り御輿など各行事には、地域一帯となり活動を継続させています。



自然環境教育（小学校課外活動）



春の子供会の祭り御輿

### 喜びの声



#### <受賞者>

うしづま水辺の楽校世話人会  
会長 川津 通久

#### <コメント>

この度は手づくり郷土賞一般部門に選定頂きありがとうございます。

これからも子供達に五感を感じ、体全体で自然を体験してもらえるよう体験のサポートをしていきたいと考えております。

#### <活動内容>

水辺の楽校の運営・維持管理  
環境教育、ホタルの再生など

#### <活動の経緯>

- 平成20年 世話人会 設立
- 平成20年 うしづま水辺の楽校設置  
(国土交通省、静岡市と連携)
- 平成26年 牛妻地区のホタルの再生
- 平成27年 静岡河川事務所河川協力  
団体に指定

#### ◆所在地域

静岡市葵区牛妻地先

#### ◆活動主体及び連絡先

うしづま水辺の楽校世話人会 (054-294-0136)

対象となる社会資本

安倍川河川敷（うしづま水辺の楽校）

※管理者：国土交通省中部地方整備局  
静岡河川事務所



# 手づくり郷土賞グランプリ2017の開催結果①

資料2

手づくり郷土賞グランプリ2017では、平成29年度手づくり郷土賞を受賞した全19団体からプレゼンテーションいただき、手づくり郷土賞選定委員会の選考により、大賞部門、一般部門それぞれのグランプリを決定しました。

また、グランプリのほか、会場参加者の投票により、ベストプレゼン賞も決定しました。

## （概要）

- 日時 平成30年1月28日(日)12時30分～15時40分  
場所 発明会館 地下ホール（東京都港区虎ノ門2-9-14）  
内容 1)平成29年度「手づくり郷土賞」選定団体による活動プレゼンテーション(19団体)  
2)グランプリ(大賞部門、一般部門)の発表、講評  
参加者 約180人(参加団体、一般参加者等)

## 【平成29年度手づくり郷土賞選定委員会】

委員長	齋藤 潮	東京工業大学環境・社会理工学院 教授
委員	荻原 礼子	結まちづくり計画室 代表
委員	鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委員	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 社長室アドバイザー
委員	由木 文彦	国土交通省総合政策局長

## 齋藤委員長による開会挨拶



## グランプリの様子





# 手づくり郷土賞グランプリ2017の開催結果②

## 受賞団体からの感想



### ■グランプリ2017(大賞部門)

特定非営利活動法人アクア・チッタ／徳島県

熱い思いをもって地域づくりに取り組んでいる方々が多くおられる中でグランプリを受賞できてうれしいです。自分たちの活動の特徴は皆楽しんで活動をしていること。だから継続できている。これからも活動の幅を広げていきたい。



### ■グランプリ2017(一般部門)

沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会

沼津を訪れる観光客に立ち寄っていただき、地域を盛り上げたいという思いだけで活動を推進してきた。そのことが評価されたことはとても励みになる。まだまだこれからの取り組みであり、引き続き頑張りたい。



### ■ベストプレゼン賞2017

球磨川ツクシイバラの会／錦町

ツクシイバラの花がきれいに咲くよう、また訪れた人が優しい気持ちになってもらえるよう清掃活動等を行ってきた。同じく活動をしてきた仲間と一緒にこのような賞を受賞できてうれしいです。

# 国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」とは

## ◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。平成29年度で32回目。

### 【一般部門】

地域の個性を創出している、良質な社会資本及びそれと関わりのある優れた地域活動を一体として表彰

### 【大賞部門】

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞したもののうち、一層の発展のあったものを表彰

(参考) 平成29年度手づくり郷土賞応募要領は以下のURLをご参照ください。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/entry/boshuu/bosyu.pdf>

## ◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します

### 手づくり郷土賞選定委員会（平成29年度）

委員長	齋藤 潮	東京工業大学環境・社会理工学院 教授
委員	荻原 礼子	結まちづくり計画室 代表
委員	鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
委員	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 社長室アドバイザー
委員	由木 文彦	国土交通省総合政策局長